

# 都市間高速/観光バス用低燃費リブタイヤ 「ECOPIA R241」のご紹介

- 低燃費性を求めるバスユーザー様には現在ECOPIA R221IIをラインアップしていますが、近年ドライバー/整備士不足が深刻化する中、省メンテナンス性が益々求められています。
- このニーズに応えるべく、低燃費性能を確保しつつ、耐偏摩耗性を向上した都市間高速/観光バス用低燃費リブタイヤ“ECOPIA R241”を3月2日より発売します。



NEW

エコピア アールニーヨンイチ

**ECOPIA**  
**R241**

## 商品特長

- 新パターンと接地形状最適化により**耐偏摩耗性**を向上
- 新トレッドゴム(スーパーエココンパウンド)で**転がり抵抗**と**摩耗性能**を高次元で両立

## 商品性能

性能		R225対比
	<b>転がり抵抗</b>	→ <b>21%低減</b> *1
汎用性能	<b>耐偏摩耗性</b>	→ <b>30%向上</b> *2
	摩耗ライフ	向上
	WET性能	同等

## サイズ

295/80R22.5 153/150J

## 発売時期

2020年3月2日

**R241は、低燃費・省メンテナンス性に優れています。  
R225ご使用のお客様へ、是非ご推奨ください。**

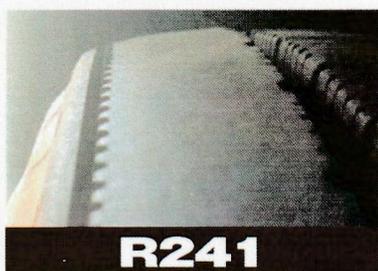
※1 (テスト条件)

タイヤサイズ:295/80R22.5 153/150J(ECOPIA R241とR225の比較) リム:22.5×9.00 荷重:30.43kN 空気圧:900kPa 速度:60 km/h 転がり抵抗係数(RRC)の結果はECOPIA R241=4.2×10<sup>-3</sup>、R225=5.3×10<sup>-3</sup>

※2 (テスト条件)

テスト場所:福岡~宮崎の高速道及び一般道 高速道路使用率:約90% 評価車両:一般ユーザー使用車両 三菱QTG-M596VP(排気量 12.80L) 装着方法:車両(各1台)のフロント軸に、従来品(R225)、新商品(R241)を装着。左右ローテーション、車両間ローテーションは未実施 評価方法:タイヤのショルダーリブ内で発生した段差量を測定し比較、グラフは各車両が100,000km走行したと仮定した場合の推定段差を使用 ※詳細はカタログ参照

## 耐偏摩耗性の向上



**R241**



**R225**

- 左記写真の通り、R241はR225対比**耐偏摩耗性が大幅向上**しています。
- 耐偏摩耗性が向上することで、ローテーションの回数を削減でき、**整備者の負担軽減**につながります!

## 発売サイズと寸度

商品コード	パターン (パターン略称)	サイズ	外径 (mm)	総幅 (mm)	トレッド幅 (mm)	溝深さ (mm) [センター/ショルダー]
TBR00354	R241 (R241Z)	295/80R22.5 153/150J	1,049	298	227	13.0/13.0